

会 議 録

1 会議名

令和8年度 第2回 中郷区地域協議会

2 議題（すべて公開）

(1) 開会

(2) 地域政策課との意見交換

- ・地域自治の推進に向けた今後の方策案について

(3) 報告

- ・市民と市長との対話集会「スマイルミーティング」の開催について

(4) 協議

- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・自主的審議事項「い〜住プロジェクト」について

(5) その他

3 開催日時

令和8年5月25日（月）18時30分～20時05分

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

報道0人、傍聴1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）

地域協議会：竹内会長、陸川副会長、岡田委員、尾崎委員、桐山委員、高橋委員、
竹内委員、田中委員、松岡委員、村越委員、陸川委員（欠席1人）

事務局：金井次長、朝日グループ長、桐山地域振興班長、更山地域振興班主事

地域政策課：小酒井副課長、新保自治推進係長、田村自治推進係主任

8 発言の内容

【地域政策課との意見交換（地域自治の推進に向けた今後の方策案について）】

■ 説明

地域政策課が、資料 No. 1 及び No. 2 を基に説明。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：事前配布資料を読んでも要点が分かりにくく、制度のねらいや従来制度との違いが理解しづらい。地域協議会で勉強会を開くなど丁寧に行う必要があるのではないかと。
 - 回答：検討項目が多岐にわたったため資料を簡潔にまとめた結果、凝縮された形になってしまった。分かりやすい資料の作成や説明の機会を設け、理解が深まるよう改善していきたい。

- ・ 質問／意見：補助の内容は幅広なものになっているが、金額や使途、審査基準が不明確なまま、無理なスケジュールで制度が進むと、不適切な支出や地域の混乱につながるのではないかと。線引きを明確にしてほしい。
 - 回答：そもそも制度設計のスタートで理想としたのは中郷区であった。補助金の詳細な要件や審査方法は現在整理を進めている段階にあり、地域協議会や総合事務所と相談しながら整理する。地域協議会による審査負担を軽減しつつ、適正な運用を目指す。また、地域協議会の機能強化にとどまらず、地域の実行機能の強化をより一層推進することを重視しており、地域運営組織に対する支援を実施していく考え方である。これまでの制度は、「地域支援」の視点と「地域独自」のそれが両極端であったので、新たな制度はその中間的なものにしていきたい。

- ・ 質問／意見：我々が地域独自の予算事業で進めてきたことは理に適っていたと思う。

- ・ 質問／意見：これからは担い手が大事になってくる。老若は問わない形を中郷区ではやっていきたいと思っている。

- ・ 質問／意見：中郷区は比較的若い人が多い。新しい意見が出やすいように、市からはわかりやすい説明をお願いする。12月が提出期限になっているのも良い。

- ・ 質問／意見：スタートアップ補助金の対象となる団体像が分かりにくい。どのような団体を想定しているのか。具体例はあるか。
 - 回答：中郷区は全地域の中でかなり前に進んでいる。「地域づくりの学び合い」の機会を設け、他の地域に横展開していきたい。市の支援を受けて実施されたワークショップ等を契機として立ち上がる新しい地域団体や、

まちづくりに新たに挑戦したいと考える団体を想定している。特に、若者が挑戦しやすい入口を整えたい。

- ・ 質問／意見：補助制度が充実した点は非常にありがたい。まちづくり振興会やさとまる学校に対する新たな補助はあるのか。市が理想とするのはどのような団体か。
→ 回答：そもそも申請団体にやる気があるかどうかというところが大事である。現時点では要件を整理中だが、適切な会計管理や決算報告など、一定の民主的な運営体制を備えていることを想定している。中郷区においては既存の団体が一定の機能を有していることから、それらの団体が対象となる可能性もある。他自治体の事例を参考に検討を進める。
- ・ 質問／意見：まちづくり振興会やさとまる学校がやっていることが、資料で示された具体例に当てはまっていると感じた。
- ・ 質問／意見：制度導入までのスケジュールが短く、地域側の準備が間に合うのか懸念がある。
→ 回答：スピード感を持って検討を進める必要があると認識している。一方で、地域における理解と準備が不可欠であることから、意見交換や資料提示を重ねながら、できるだけ丁寧に進めたい。

【報告（市民と市長との対話集会「スマイルミーティング」の開催について）】

■ 説明

事務局が資料 No. 3 に基づき説明。地域協議会委員への参加を勧奨。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：できるだけ多くの地域の住民に参加してもらいたい。
→ 回答：町内会長、地域協議会委員、民生委員、まちづくり関係団体、老人クラブ連合等、区内の主な団体に対しても案内文書を送付し、幅広い参加を呼びかけている。
- ・ 質問／意見：地域協議会が実施している座談会の参加者など、20代の若い世代にも声がけして参加を促したい。

【協議（自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について）】

■ 説明

事務局が資料 No. 4 及び No. 5 に基づき説明。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：「コミバス『さくら号』」について、利用者が増えているのは良いことだが、今後さらに増加した場合、乗り切れない恐れがあるため、対応策を検討する必要がある。
→ 回答：定員超過が生じる場合は、追加車両で対応している。
- ・ 質問／意見：「子どもの い～場所開設事業」について、開催回数を増やしてほしいというアンケート意見が複数ある。回数を増やす場合は、見守り者の確保や見守り者の負担軽減策が必要である。

【協議（自主的審議事項「い～住プロジェクト」について）】

■ 説明

事務局が資料 No. 6～9 に基づき説明。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：第2回座談会は6月22日（月）に実施することとする。前回の座談会を行う際に分けた3チームをそのまま生かし、実現可能な取り組みの具体化と短期実施案件の洗い出しを行う。具体的な行動につなげることを重視し、可能なものは今年度中に形にすることで、参加者の達成感につなげたい。
- ・ 質問／意見：資料 No. 9 は、3月の活動報告会用に事務局が作成したスケジュールだが、座談会の進み具合を踏まえて、若者を巻き込んだ取組のスケジュールにして行いたい。一旦、このスケジュールは閉じさせていただく。
- ・ 質問／意見：改めて資料 No. 9 を見ると、やるが多すぎると感じる。若い人は、人が人を呼ぶ動きがあると思うので、6月の座談会をスムーズに進められれば、結果がついてくる。

【その他】

■ 説明

事務局が、「上越市公共施設等管理計画に基づく取組のスケジュール変更」、「4区地域協議会委員合同研修会の出欠確認」、「地域協議会だより編集委員会の開催」、「会議録の作成方法の変更」、「本日の配布物」について連絡。

■ 質疑応答

なし

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165) E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。